

「老いと演劇」 OibokkeShi

会えない人に、会いたい。

行けないところに、行きたい。

老いの
プレーパーク
出張公演
in 名張市

あたらしい 生活シアター

OiBokkeShi
X
三重県文化会館
「介護を楽しむ」「明るく老いる」
アートプロジェクト

作・演出 = 菅原直樹

2022年11月27日[日] 14:00開演 adsホール(名張市松崎町)

OiBokkeShi X 三重県文化会館「介護を楽しむ」明るく老いる」アートプロジェクト | 老いのプレーパーク出張公演 in 名張市

あたらしい生活シアター

作・演出 = 菅原直樹

「まるで世界中が老人ホームになった」
会いたい人に会えない、行きたいところに行けない、限られた空間で暮らす毎日。
コロナ禍で始まった自粛生活、それはまるで老いのリハーサルのような。
当たり前が奪われたとき、私たちの心と身体は一体何を求めるのか。
それでも、私たちは会いたい人に会える、行きたいところに行ける、演劇を使って。
超高齢社会を生きる全ての人々に捧げる、生活者による生活者のための“あたらしい演劇”。



©松原豊

あらすじ:

それぞれの人生を台本にして演じるサークル「生活シアター」。
久しぶりの公演を計画するも、かつての仲間は認知症や高齢になってバラバラに…。
「だったら、自分たちが演劇を届けに行こう!」
こうしてメンバーたちの人生を辿る旅が始まった。

[日程]

2022年11月27日(日)14:00

*開場は開演の30分前、受付開始は開演の45分前

[会場] adsホール

〒518-0722 三重県名張市松崎町1325-1

*近鉄名張駅西口から徒歩12分

*無料駐車場130台あり

[料金] 全席自由

(前売・当日共) 一般 1,000円 /

22歳以下(要証明書提示) 500円

*未就学児の入場はご遠慮ください。

[チケット取扱]

○三重県文化会館(前売)

・チケットカウンター

電話 059-233-1122(火～日 10:00-17:00)

・WEBチケットサービス「エムズネット」

<https://p-ticket.jp/center-mic/>

○adsホール(前売)

電話 0595-64-3478

○名張市教育委員会事務局

文化生涯学習室(予約のみ)

電話 0595-63-7892(平日 8:30-17:15)

[チケット発売日]

9月24日(土)10:00

[問合せ先]

三重県文化会館

電話: 059-233-1100(火～日 10:00-17:00)

老いのプレーパークメンバー:

池田由美 市川兼三 伊野廣美 井早照彦 今井亜子
宇野美紀 近江谷子 木曾原友美 倉田美智子
くるぶし 佐脇柚 たかの 高橋礼子 高山鎮 辻屋康子
TSUぶ☆あん子 中尾法子 鳴海美穂子 柘木繁雄
深川あずこ 前川香代子 松原秀武 丸井典子
水谷祐哉 みなみ 宮木きみる 宮村紘実

宣伝美術: hifoo farm イラスト: あさののい

舞台監督: 山中秀一 照明: 岡田江津子

音響: 大野ひかり

技術協力: (有)現場サイド / (有)アトリエ

主催:

三重県文化会館[指定管理者:(公財)三重県文化振興事業団]

共催: 名張市・名張市教育委員会

[老いのプレーパーク]

2018年、老いや介護に関心のある三重県内の公募メンバーにより結成。最高齢は94歳。定年退職したシニア、理学療法士、介護真っ最中の主婦や、認知症のお母さんとその娘さんなど、顔ぶれはさまざま。老いの明るい未来を模索し、菅原直樹さん指導のもと毎年演劇作品を上演。老いのプレーパークの活動を追ったドキュメンタリー「老いてこそ～あなたの居場所はどこですか?～」(三重テレビ)が中部テレビ大賞(2020)優秀賞を受賞。



©松原豊

菅原直樹さん(「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰/俳優、介護福祉士)

平田オリザさんが主宰する青年団に俳優として所属。2012年より、家族と共に岡山に移住。介護と演劇の相性の良さを実感し、地域における介護と演劇のあり方を模索している。平成30年(第69回)度芸術選奨文部科学大臣賞新人賞(芸術振興部門)受賞。平成30年度(第20回)、令和4年度(第23回)岡山芸術文化賞準グランプリ受賞。奈義町文化功労賞受賞。2019年度(第1回)福武教育文化賞受賞。

《新型コロナウイルス感染症対策について》

三重県のガイドラインにおける「主催イベントの開催基準」に則って開催します。
感染症対策についてはご来場前に右記老いのプレーパーク特設サイトをご確認ください。

→
サ
特
イ
設
ト



©松原豊

「老いと演劇」 OiBokkeShi